

第4期（2022年10月1日～2023年9月30日）

事業報告

1. 事業運営の総括

第4期（2022年10月～2023年9月）の内外環境を振り返りますと、2020年以来の新型コロナウイルスの感染拡大は、何度かの波を繰り返しつつも感染者数もピークアウト、2023年5月には、感染症法上の位置付けが第2類から第5類に変更となり、新しい日常・本格的なポストコロナの時代へと突入しました。

テレワークやEコマース、キャッシュレス決済、電子行政、遠隔教育、遠隔医療などの新しい取り組みや生活様式がさらに浸透・定着。また、甚大な自然災害が頻発するなか、2050年のカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて、気候変動対策・再エネ・省エネ等の取り組みが待ったなしの課題として再認識されております。

こうした経済・社会の変容は、わが国におけるスマートシティの取り組みにおいても、解決すべき社会課題の優先順位の変更をもたらすと同時に、全般的にはその取り組みを推進する要因となっています。

2022年6月にスマートシティに先進的に取り組む全国27の団体に対して、令和3年度補正予算に基づくデジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ TYPE2/3）の交付が決定、さらに2023年4月には、全国32の団体に対して令和4年度2次補正予算に基づくデジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ TYPE2/3）の交付が決定し、スマートシティの社会実装に向けた取り組みが本格的に始動しました。

そのなかで当法人は、オンライン中心の活動から、リアルとオンラインのハイブリッドの活動にシフトしつつ、取り組みをさらに充実させてまいりました。具体的には、スマートシティをテーマにした特別フォーラム（2023年7月、ハイブリッド開催）やウェビナーの開催等を通じて、広く社会に対して、その取り組みの重要性や最新の情報の発信を続けるとともに、会員向けにはメールマガジンや会員サイトでの情報提供、さらには会員間の情報共有・交流の場としてのWEBサロンの開催（月1回程度）等の活動を行いました。

また、スマートシティ推進の中間支援組織としての使命を果たすべく、市民の幸福度と暮らしやすさを計測する「Liveable Well-Being City 指標（LWC 指標）」の開発・普及、スマートシティ推進人材育成のための研修プログラム「City-Region MAP プログラム（C-R MAP プログラム）」の開発・提供など、協調領域における活動に精力的に取り組んでまいりました。

さらに2022年11月には、世界最大のスマートシティ関連イベントである Smart City Expo World Congress に初の日本パビリオンを出展、会員自治体・企業様にご出展いただくとともに、3年ぶりの視察研修を実施しました。

なかでも、LWC 指標に関しては、デジタル田園都市国家構想における地域幸福度（Well-Being）指標に採用されることが決定し、デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ TYPE2/3）に採択された団体を中心に LWC 指標の活用が大きく進展しました。

最後に、事業収支につきましては、コロナの影響で繰り越しとなっていた前期までの剰余金も活用し、日本パビリオンの出展、海外視察研修などリアルの活動を展開した結果、約16百万円の赤字決算となりましたが、なお、約17百万円の剰余金がございますため、当面はこの剰余金を活用して、皆さまのお役に立つ有意義な活動を実施していく予定です。

1-1. 入会状況（2023 年 9 月 30 日現在）

入会承認済の会員総数は 701（前期末比+113）、内訳は以下の通りとなっております。

1）正会員 A：74 社（+11）

2）正会員 B：22 社（▲2）

3）準会員：22 社（+11）

4）賛助会員：583 社（+93）

中央省庁 7（±0）、地方自治体 305（+25）、大学 48（+15）、
その他団体 223（+53）

1-2. エグゼクティブ・アドバイザーの就任状況

9 月末現在、36 名（前期末比▲5 名）の有識者の皆さまにご就任いただいております。

・退任 9 名（第 3 期末）

氏 名	所属・役職
信時 正人	ヨコハマ SDGs デザインセンター長
坂本 真樹	電気通信大学副学長 人工知能先端研究センター副センター長
平本 健二	デジタル庁 データ戦略統括
加藤 史子	WAmazing 代表取締役社長
櫻井 美穂子	国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 主任研究員／准教授
松尾 豊	東京大学大学院 工学系研究科 教授
西 宏章	慶応義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授
Victor Mulas	世界銀行 東京開発ラーニングセンター（TDLC）Team Lead
Martin Brynskov	Open & Agile Smart Cities Chair

・新任 4 名（第 4 期より）

氏 名	所属・役職
江崎 浩	デジタル庁 Chief Architect／東京大学大学院情報理工学系研究科教授
庄司 昌彦	武蔵大学社会学部 教授
森川 博之	東京大学大学院工学系研究科 教授
武部 貴則	横浜市立大学先端医科学研究センター 特別教授／同コミュニケーション・デザイン・センター センター長

2. 第4期事業報告

2-1. 事業活動実施状況

昨年10月以来、以下の活動を実施しました。

1) 特別フォーラム

特別フォーラム「市民の Well-Being を高める日本型スマートシティへのチャレンジ
～デジタル田園都市国家構想の実現に向けて～」

<https://events.nikkei.co.jp/58481/>

開催日時：2023年7月26日（水）10:00～18:00

開催場所：赤坂インターシティ AIR コンファレンス（同時 LIVE 配信）

共催：日本経済新聞社

企画協力：三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング

後援：内閣府、デジタル庁、総務省、経済産業省、国土交通省、環境省

当日視聴者数：1,098名（オンライン視聴 936名、来場者 162名）

アーカイブ動画：<https://channel.nikkei.co.jp/2307sci-japan/>

採録記事：9月13日（日本経済新聞全国版朝刊）

2) Smart City Expo World Congress (SCEWC)2022 日本ブース出展、海外視察研修

2023年11月15日～17日にスペインバルセロナで開催された「Smart City Expo World Congress (SCEWC)2022」への日本ブース出展と視察研修ツアーを下記の通り、実施しました。

また、2022年12月27日／日本経済新聞朝刊（全国版）に3ページにわたって、「バルセロナ Smart City Expo World Congress 2022 特集記事」を掲載しました。

SCEWC2022 日本パビリオン出展・視察研修プログラム実施概要	
実施期間	2022年11月14日（月）～17日（木） 現地集合・現地解散
出展社数	8コマ／11団体 東京都、京都府・JETRO 京都・ATR、横浜市、NEC（日本電気株式会社）、アビームコンサルティング株式会社、ISID（株式会社電通国際情報サービス）、IJJ（株式会社インターネットイニシアティブ）・株式会社村田製作所、インフォ・ラウンジ株式会社
イベント開催	1. Digital Garden City Theater セミナー 計45回 2. その他関連イベント 14回 3. 懇親会 計3回（ジャパンナイト2回、会食1回）
日本視察団	団長 柳川 範之
	副団長 平田 喜裕、南雲 岳彦
	総人数 181名（うち視察研修プログラム参加者 129名）

3) ウェビナー

2020 年 4 月に立ち上げたウェビナーシリーズを継続的に開催しています（マンスリーピッチ他）。

アーカイブ動画及びプレゼン資料については、YouTube チャンネルにて公開しており、動画の再生回数も順調に増加しております。

	第 4 期	開始以来の累計
開催回数	12	328
うち会員限定	0	20
事前登録者数	905	31,622
当日視聴者数	666	23,560
動画再生回数	約 26 千回	約 191 千回

YouTube チャンネル； <https://www.youtube.com/channel/UCuv0theDkUMADjkkkqtE8FQ>

4) WEB サロン

スマートシティの社会実装に向けての会員相互の交流・ネットワーキングの場として、WEB サロンを開始しました。毎回、スマートシティに関連した特定のテーマを設定し、それに関心を持つ会員（企業・自治体・団体等）が参加。座談会形式で情報共有・意見交換を行う企画です。第 4 期は、これまでに計 9 回実施し、275 名の会員の皆さまにご参加いただきました。

	開催日	テーマ	話題提供者	参加者
15	2022.10.5	自治体における行政 DX とデジタル通貨の活用とは～自治体での給付金支給の実証実験をご紹介します～	III、会津若松市 他	36 名
16	2022.11.2	まちの幸福度と暮らしやすさの測り方～LWC 指標と Well-being ダッシュボードのご紹介～	SCI-Japan	34 名
17	2022.12.15	デジタル田園都市国家構想「三重広域連携モデル」から見る広域連携地域 DX の効果と課題	大日本印刷、多 気町	45 名
18	2023.02.16	ゼロカーボンシティの実現を目指して～Google EIE の概要と活用事例のご紹介～	Google、小田原 市、横須賀市、 茅ヶ崎市	37 名
19	2023.03.14	北欧のスマートシティに何を学ぶべきか」（『北欧のスマートシティ』出版記念）	ロスキレ大学／ 安岡氏（SCI- Japan EA）	28 名
20	2023.04.06	すべての人のウェルビーイングを目指す社会とは～発達障害の支援を通じて考える～	ADDS、SCI- Japan	21 名
21	2023.04.18	スマートシティにおける防災の取り組みとは ～ICT を活用した大規模災害への準備～	パーソルプロセ ス&テクノロジー、 神戸市	22 名

22	2023.05.18	デジタルツインってこうじゃない？ ～行政情報をまとめてプログラミングするための地図の使い方まるわかり！～	Geolonia、高松市	33 名
23	2023.08.02	柏の葉スマートシティで実践している「パーソナルデータ連携プラットフォーム」の産学連携による活用事例	UDCK タウンマネジメント	19 名
24	2023.08.25	脱炭素とスマートシティで加速する都市の高付加価値化	岡崎市	26 名

5) 分科会活動

以下 3 つの分科会を事務局主導で立ち上げ活動してまいりましたが、第 4 期をもちまして、当面、活動を停止いたします。なお、実質的な活動は、WEB サロン、C-R MAP プログラム (6))、WBPD OASIS プログラム (7))、その他イベント等に引き継いでまいります。どうぞよろしくお願い致します。

① Liveable Well-Being City 指標 (LWCI) 分科会

② スマートシティ・アーキテクト分科会

③ マイナンバーカード普及推進分科会

6) C-R MAP プログラム

これまでの活動のなかで培ってきた知見・ノウハウやネットワークを活かして、2022 年 10 月にスマートシティ推進人材等育成のための有料研修プログラム「C-R MAP プログラム (City-Region Mutually-supportive Agile & Participatory Program)」を立ち上げました (内閣府、総務省、国土交通省後援)。

第 1 回プログラムは 2022 年 10 月～2023 年 2 月に実施。受講者 60 名のうち、修了要件をクリアした 50 名 (民間企業 35 名、自治体 15 名) に対して、「SCI-Japan フォロー」の資格を付与しました。

2023 年 8 月 29 日には、第 2 回プログラムを開講し、60 名 (民間企業 41 名、自治体 19 名) の会員にご受講いただいております。

7) WBPD OASIS プログラム

2023 年 5 月より、ウェルビーイングに基づく政策デザイン (Well Being Based Policy Design (WBPD)) を習得するための研修プログラムとして、「WBPD OASIS プログラム」を試行的に立ち上げました。

このプログラムは、「C-R MAP プログラム」の上位プログラムの位置付けとして、WBPD の習得に特化したより高度、より実践的なプログラムとなっております。

2023 年 9 月末現在、以下の 12 団体にトライアルを実施中 (もしくは 2024 年 3 月までに実施予定)。また、一部の会員企業の皆さまにも試行的にご参加いただいております。

会津若松市、浜松市、渋谷区 (シブヤスマートシティ推進機構)、千葉市、鎌倉市、東広島市、前橋市、加古川市、山口県、三島市、小田原市、世田谷区 (ライト版)

また、上記の成果を踏まえ、2024 年 4 月以降は、本格展開 (OASIS ガバメント、OASIS ビジネス、OASIS エグゼクティブ) を予定しております。

8) リサーチ業務

以下の調査を実施し、その結果を会員専用 WEB ページに掲載しました。

① 会員自治体向け第3回定例アンケート調査

2022 年 10~12 月に自治体会員向けにスマートシティの推進状況と今後の課題に関するアンケート調査（第3回）を実施し、各地のスマートシティの現状を統計的に把握・分析しました（回答自治体：131）。この結果を紹介するウェビナーを 2023 年 3 月 9 日に開催しました。

② Liveable Well-Being City (LWC) 指標（地域幸福度指標）の開発と普及促進

SCI-Japan が開発した LWC 指標がデジタル田園都市国家構想推進交付金「デジタル実装タイプ TYPE2/3」で測定が義務づけられている「地域幸福度 (Well-Being) 指標指標」として採用されることが決定し、デジタル田園都市国家構想推進交付金「デジタル実装タイプ TYPE2/3」に採択された自治体を中心に、Well-Being アンケート調査が実施され、LWC 指標が本格的に活用されています。

また、デジタル庁が主催する「デジタル田園都市 Well-Being 指標等 KPI 指標整備に関する検討会議」のメンバーとして、専務理事の南雲をはじめ多数のエグゼクティブ・アドバイザーが参画しております。

2023 年 5 月には全国約 85 千名を対象とした調査（デジタル庁事業）を実施。その調査結果や最新の客観指標データのダッシュボードや自治体別データを SCI-Japan 公開サイトにて公開しています。

【検討会構成員】●は SCI-Japan 役員、エグゼクティブ・アドバイザー

●前野 隆司氏（座長） 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 兼 慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター長

●南雲 岳彦（副査） 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート専務理事

●石川 善樹氏 Well-being for Planet Earth 代表理事

●内田 由紀子氏 京都大学人と社会の未来研究院教授

●太田 直樹氏 株式会社 New Stories 代表取締役、一般社団法人コード・フォー・ジャパン 理事

隈 研吾氏 建築家、東京大学特別教授・名誉教授

●小泉 秀樹氏 東京大学先端科学技術研究センター教授

笹尾 知世氏 東京大学大学院新領域創成科学研究科ハビタット・イノベーション研究社会連携講座特任助教

●白坂 成功氏 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授

鈴木 寛氏 東京大学公共政策大学院教授

●関 治之氏 一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事

●広井 良典氏 京都大学人と社会の未来研究院教授

9) 地域幸福度 (Well-Being) 指標の分析支援

地域幸福度 (Well-Being) 指標の普及促進活動の一環として、同指標の積極活用を検討している以下の自治体に対して、分析支援サービスを提供しました（原則有料）。

提供自治体：前橋市、境町、浜松市、鎌倉市、会津若松市、加古川市

10) 有識者コラム

以下の通り、計 26 本のコラムを会員専用 WEB ページに掲載しました（第 1 期からの累計で 92 本）。

- ✓ 「政策提言 AI が予測する持続可能な未来社会とは #3」 2022/10
福田 幸二/日立製作所 研究開発グループ 主任研究員
- ✓ 「スマートシティを構想する地方創生」 2022/10～2023/1
アビームコンサルティング
- ✓ 「シェアリングエコノミーで拡張するスマートシティの未来」 2022/10～11
石山 アンジュ/シェアリングエコノミー協会代表理事
- ✓ 「スマート「シティ」という名称とその意味するところに関する考察」 2022/11～2023/2
豊田啓史/東京大学生産技術研究所特任教授/建築家
- ✓ 「COP27 を振り返って」 2023/1
吉高 まり/三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング フェロー
- ✓ 「スマートシティの社会実装を考える」 2023/2～4
デロイト トーマツ グループ
- ✓ 「「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル社会」に向けて求められること」 2023/2
庄司 昌彦/武蔵大学社会学部 教授
- ✓ 「食のイノベーションと Wellbeing」 2023/3
内田 瑞子/スペイン大使館経済商務部
- ✓ 「北欧のスマートシティに何を学ぶべきか」 2023/3～5
安岡 美佳/北欧研究所 代表
- ✓ 「デジタル通貨のもたらす決済システムの未来」 2023/5～7
木内 卓/桜美林大学ビジネスマネジメント学群 准教授
- ✓ 「会津で創る日本の未来」 2023/6～8
海老原 城一/AICT コンソーシアム 代表理事
- ✓ 「英国のスマートシティの現状と政府を取り巻くエコシステム」 2023/7
荒井 昌幸/駐日英国大使館 ビジネス・通商部 上席商務官
- ✓ #1 多元化する世界の足音。もう一つの世界循環経済フォーラム
加藤 佑/ハーチ株式会社 代表取締役

11) 会員向けメールマガジン

計 34 本（第 1 期からの累計で 89 本）のメールマガジンを会員向けに定期配信しました（メルマガ配信登録者数は、9 月末現在で 1,355 名）。2023 年 6 月より新メルマガ配信システムからの配信を開始、7 月からは月 4 回の定期配信を行っています（10 月からは月 3 回に変更）。

12) オープンスクエア・会員マッチング

会員からの依頼に基づき、会員主催のイベント情報・公募情報・レポート等を会員専用サイトのオープンスクエアに掲載するほか、SCI-Japan の各種 SNS で広く発信しております。第 4 期の実績は下記のとおりとなります。

なお、第 4 期からは、会員専用サイトへの情報公開は終了し、会員向けメールと各種 SNS による発信とさせていただくことになりました。

- ✓ イベント・公募情報 127 件 （累計 298 件）
- ✓ 書籍・レポート 3 件 （累計 8 件）

上記のほか、会員からの依頼に基づき、会員相互の意見交換・ヒアリング等を目的としたマッチングを実施しております。第 4 期の実績は下記のとおりとなります。

- ✓ マッチング依頼件数 13 件（累計 44 件）
- ✓ 面談成立件数 10 件（累計 28 件）

13) イベントの共催・後援等（除く海外パートナーとの協働）

以下のイベント等に共催・後援・企画協力を行いました。

依頼者	会員種別	協働形態	イベント名	開催年月
京都大学経営管理大学院	賛助	共催	SCI-Japan カンファレンス「デジタル田園都市国家構想におけるスマートシティ実装に向けたマネジメントとガバナンスの課題と解決の方向性」	22 年 10 月
データ【活用×流通】フォーラム 2022 実行委員会	賛助	後援	データ【活用×流通】フォーラム 2022	22 年 10 月
日本経済新聞社	正会員	協力	日豪 Liveable & Well-being City フォーラム 2023	23 年 1 月
広島大学スマートシティ共創コンソーシアム	賛助	後援	広島大学スマートシティ共創コンソーシアム 設立セレモニー及び記念講演	23 年 2 月
THE WELL-BEING WEEK 2023	—	共催	ウェルビーイング指標を活用した市民の幸福感を高めるスマートシティの実践	23 年 3 月
小田原市	賛助	後援	おだわらデジコン城下町（全国学生デジタルまちづくりコンテスト 2023 in Odawara）	23 年 6 月～11 月
MyDataJapn	賛助	後援	MyData Japan 2023	23 年 7 月
金沢工業大学	賛助	後援	第 1 回 Well-being & Sustainable City アイデアコンテスト	23 年 9 月～11 月

14) 海外パートナーとの協働

海外パートナーとの協働で以下の活動を実施しました。

① German Federal Ministry（ドイツ連邦省）主催イベント

ドイツ連邦住宅都市開発・建築省主催のオンラインシンポジウムで、南雲専務理事がスマートシティのためのスマートシティ、グリーンで回復力のある都市開発について登壇しました（2022 年 10 月 13 日）。

② The National Bureau of Asian Research ラウンドテーブル

全米アジア研究所主催のオンラインラウンドテーブルで、南雲専務理事がスマートシティと日本のデジタル田園都市国家戦略について登壇しました（2022 年 10 月 14 日）。

③ HAUS（フィンランド財務省管轄の機関）主催イベント

フィンランド財務省管轄の機関 HAUS 主催のオンラインパネルディスカッションで、南雲専務理事が政府のデジタル化とデジタルトランスフォーメーションについて、4 人のスピーカーの一人として選ばれ、登壇しました（2022 年 10 月 21 日）。

④ **MyData Online 2022 Conference**

フィンランドのヘルシンキを拠点とする国際的な非営利団体 MyData 主催のオンラインカンファレンスで、南雲専務理事が「Smart cities in times of crisis」について登壇しました(2022 年 10 月 27 日)。

⑤ **Smart City Expo World Congress 2022**

P2 に記載しているバルセロナの Smart City Expo World Congress において、南雲専務理事は計 42 本の登壇、司会進行を行いました(2022 年 11 月 15～17 日)。

⑥ **「Japan Australia Liveable & Well-being City Forum 2023」サイドイベント**

メルボルンで開催されたロイヤルメルボルン工科大学 (RMIT) との共同フォーラムのサイドイベントとして、RMIT が開発したデジタルロードマップに関するセッションに南雲専務理事が登壇しました (2023 年 1 月 31 日)。

⑦ **アムステルダム市長来日パネルディスカッション**

在日オランダ大使館主催イベントの招待を受け、南雲専務理事がサーキュラーエコノミーについてディスカッションしました(2023 年 3 月 1 日)。

⑧ **オランダ王国大使館主催 サーキュラーエコノミー視察旅行**

在日オランダ大使館主催の視察団に南雲専務理事が団長として参加しました(2023年6月19日～22日)。

⑨ **Smart City Association (SCA)主催「World Smart City Expo 2023」登壇**

韓国で開催された「World Smart City Expo 2023」に南雲専務理事が登壇しました(2023年9月7日)。

15) 大学・大学院での次世代人材育成

大学・大学院での次世代人材育成の活動として、南雲専務理事が大学での講義を実施しています。

期 間	内 容
2023/4～2023/8	専修大学経営学部／「スマートシティ論」講義
2023/4～2023/9	横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科／講義
2023/9～2024/1	専修大学経営学部／「サステナブル都市論」講義

2-2. 对外情報発信

1) 公式ホームページ (2022 年 10 月～2023 年 9 月) PV 数：約 178 千 PV

2) SNS による発信 (2023 年 7 月 31 日現在)

- ① Facebook (日本語・英語)：フォロワー2,887 名
- ② Twitter (日本語・英語)：フォロワー1,606 名
- ③ LinkedIn (日本語・英語)：フォロワー844 名
- ④ YouTube：登録者 3,660 名、掲載動画 310 本、視聴回数 約 219 千回
- ⑤ Peatix：フォロワー4,233 名

3) 広告企画掲載

- ① 2022 年 12 月 27 日 日本経済新聞朝刊（全国版）3 ページ
「バルセロナ Smart City Expo World Congress 2022 特集記事」

※広告欄（7 段）に SCI-Japan としての広告を掲載しました

- ② 2023 年 2 月 20 日 日本経済新聞朝刊（全国版）7 段広告
「SCI-Japan 第 4 期会員募集」

※広告欄に正会員の企業名を掲載しました

- ③ 2023 年 6 月 23 日 日本経済新聞朝刊（全国版）2 ページ
「SCI-Japan 特別フォーラム告知広告」

※広告欄に正会員の企業名を掲載しました

- ④ 2023 年 9 月 13 日 日本経済新聞朝刊（全国版）3 ページ
「SCI-Japan 特別フォーラム採録記事」

※広告欄（7 段）に SCI-Japan としての広告を掲載しました

4) 南雲理事によるスマートシティ関連の対外活動（除 SCI-Japan 主催分）

※ご要望があれば、南雲理事やエグゼクティブ・アドバイザーによる社内勉強会の講師等の活動もアレンジします（会員様優先対応）。

①アドバイザー等への就任（2023 年 9 月 30 日現在）

①アドバイザー等への就任（2023 年 9 月 30 日現在）

【国】

- ✓ デジタル庁：デジタル田園都市国家構想実現に向けた地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会 委員
- ✓ 内閣府：規制改革推進会議 専門委員
- ✓ 内閣府公文書管理委員会専門委員
- ✓ 経済産業省：IPA デジタルアーキテクチャ・デザインセンター アドバイザリーボードメンバー

【自治体】

- ✓ 東京都：東京都官民連携データプラットフォーム協議会 委員
- ✓ 浜松市：フェロー／浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム運営委員会 副委員長
- ✓ 前橋市：政策アドバイザー
- ✓ 横浜市：DX アドバイザー
- ✓ 東広島市：スマートシティ政策アドバイザー
- ✓ 鎌倉市：スマートシティ推進参与
- ✓ 加古川市：LWC 政策アドバイザー
- ✓ 千葉市：千葉市新基本計画審議会スマートシティ部会 委員
- ✓ 札幌市：Well-Being 指標アドバイザー
- ✓ 会津若松市：スマートシティ会津若松アドバイザー

- ✓ 下関市：スマートシティ推進協議会アドバイザー
- ✓ 茨城県境町：参与
- ✓ 渋谷区：一般社団法人シブヤ・スマートシティ推進機構 理事
- ✓ 三島市：スマートシティ推進フェロー
- ✓ 岐阜市：総合戦略アドバイザー
- ✓ 山口県：デジタル実装推進アドバイザー
- ✓ 小田原市：エグゼクティブデジタルアドバイザー

【民間】

- ✓ 京都大学経営管理大学院 客員教授
- ✓ 横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 客員教授
- ✓ 横浜市立大学大学院 国際マネジメント研究科 客員教授
- ✓ 専修大学経営学部 客員教授
- ✓ 金沢工業大学 客員教授
- ✓ 東海大学 客員教授（～3月）
- ✓ 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員
- ✓ 国際大学 GLOCOM 上席客員研究員
- ✓ 一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム 理事
- ✓ 一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム アドバイザー
- ✓ 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 理事
- ✓ 一般社団法人 Govtech 協会 アドバイザー
- ✓ 一般社団法人全国地域ビジネス協会 自動運転“地域モビリティ”コンソーシアム運営委員会 アドバイザー
- ✓ 一般社団法人スポーツウェルビーイング推進協議会 アドバイザー
- ✓ 一般社団法人 AiCT コンソーシアム 顧問

【海外】

- ✓ フィンランド財務省 オーロラ AI プロジェクト・グローバルネットワーク (gHAIR: Global Human-Centric AI Transformation Research Network) 創設メンバー
- ✓ Open & Agile Smart Cities (OASC) 日本チャプター代表
- ✓ ロイヤルメルボルン工科大学シニア・フェロー
- ✓ タリン工科大学 客員教授（9月まで）

② 鎌倉 FM レギュラー出演(2023年4月1日～2024年3月31日)

- 番組概要 ・タイトル：KAMAKURA GOODMORNING STATION
- ・放送時間：毎週土曜 午前8時～午後12時
- ・出演時間：毎週土曜 午前11時～正午

ゲスト出演者（SCI-Japan 関係者のみ）

- 関 治之氏（エグゼクティブ・アドバイザー、Code for Japan（賛助会員））
- 村上 敬亮氏（デジタル庁（賛助会員））
- 多田 功氏（TIS（正会員））
- 辻 早紀氏（One Smile Foundation（準会員））
- 黒木 淳氏（横浜市立大学（賛助会員））

③ イベントへの登壇（2022年10月～2023年9月）

日付	イベント名／主催者名	会員種別
10月2日	Well-being 指標に関するカンファレンス(SCI-Japan 主催)	主催
4日	「Sustainable Innovation Lab Xゼミ」	
6日	日経 Well-being シンポジウム	正会員
6日	BS テレ東 Well-being 特番撮影	
8日	Code for Yokohama LWCI ワークショップ	賛助
10日	トークイベント 鎌倉市「ひとまちらば鎌倉」	賛助
11日	D X トップセミナー（第2回）講演 三島市	賛助
13日	High-Level Symposium on Smart & Green Urban Developmen	
14日	NBR roundtable	
18日	関西経済同友会 講演	賛助
18日	関西経済連合会 都市 OS ワーキング 講演	賛助
21日	都市デザイン 横浜市 よこはま共創博覧会 2022	賛助
21日	HAUS 講演	賛助
24日	群馬大学イノベーション協議会 講演・パネルディスカッション	
25日	大学発アーバンイノベーション神戸 審査員	賛助
26日	浜松市 デジスマフォーラム	賛助
27日	浜松市 well-Being ワークショップ	賛助
27日	MyData Online 2022 conference	賛助
28日	経済産業省国際電気標準課スマートシティ TF	賛助
28日	Japan IT Week 秋セミナー	
28日	「新たなモビリティ社会に向けたイノベーションガバナンス検討委員会」	
11月2日	内閣府『バルセロナ Expo 視察研修』映像事前収録	賛助
7日	三菱電機社員向け講演	
8日	Code for Japan イマジン横浜ウェビナー 登壇	賛助
10日	小倉少子化・女性活躍担当大臣/オーロラ Ai 懇談会	
11日	シブヤ・スマートシティ推進機構発足イベント登壇	賛助
12日	日本創造学会研究大会 登壇	
15～17日	Smart City Expo World Congress 2022 登壇&モデレータ	
19日	PCW 沖縄/Well-being オンラインカンファレンス(事前収録)	賛助
24～25日	アジアスマートシティ会議 登壇	賛助

25 日	東京都 デジタルサービス局スマートシティフェスタ 2022 トーク	賛助
28 日	第 2 回鎌倉市スマートシティ官民研究会全体会 トーク	賛助
29 日	東京ビジネスカレッジ/デジタルビジネスコース講義	賛助
12 月 1 日	滋賀県経済同友会第 3 回「滋賀の幸福をかなえる経済」研究会	賛助
6 日	Odakyu Innovation Week 2022	
9、10 日	OGC 加古川シンポジウム	賛助
10 日	内閣府 地方創生☆政策アイデアコンテスト 2022	賛助
13 日	NTT 西日本広告掲載インタビュー	正会員
15 日	全国 IJ 電子@連絡帳推進会議- 地域サミット 2022	正会員
15 日	東京大学 総合分析情報学研究法 2	賛助
18 日	Code for YOKOHAMA デジタルツイン	賛助
20 日	地方議員向けオンライン勉強会 地域政党サミット	
23 日	会津若松ワークショップ	賛助
26 日	NEC 住民の Well-being 研究コミュニティ第 2 回	正会員
23 年 1 月 18 日	鎌倉市・東京海上ワークショップ	正・賛助
26 日	Business Break Through IT ライブ (収録)	
30、31 日	Japan Australia Liveable & Well-being City Forum (Melbourne)	賛助
2 月 7 日	札幌市 Well-Being 指標に係る勉強会	賛助
8 日	建築研究開発コンソーシアム「創立 20 周年記念講演会」	賛助
9 日	取材 日本オラクル	正会員
10 日	横浜市大主催 ワークショップ経済	賛助
11 日	特定非営利活動法人 ADDS 第四回シンポジウム	賛助
13 日	三芳町役場 職員向け勉強会	賛助
15 日	広島大学スマートシティ共創コンソーシアム特別講演～設立セレモニー	賛助
16 日	取材依頼 りゅうぎん総合研究所	
17 日	浜松市 中間報告会	賛助
18～19 日	慶應 SDM レモンイベント@尾道	賛助
20 日	加古川市幹部職員研修会	賛助
27 日	City-Tech.Tokyo	賛助
28 日	取材 ぎょうせい【月刊 J-LIS 4 月号】	
3 月 1 日	シブヤ・スマートシティ推進機構 WG	賛助

1 日	オランダ大使館主催アムステルダム市長来日パネルディスカッション	賛助
2 日	JP サミット	
4 日	同志社大学第 13 回ソーシャルマーケティング研究会	賛助
14 日	取材 日経地域報道センター	
15 日	【野村総研 (NEDO)】シンポジウムパネルディスカッション	正会員
17 日	日立東大ラボ ハビタット・イノベーションプロジェクト座談会	正会員
23 日	Y-SHIP	賛助
24 日	THE WELL-BEING WEEK(WBW) 2023	
28 日	WEF C4IR セッション	賛助
29 日	横浜市 + Ideas for Good 循環経済	賛助
30 日	小田原市デジタルイノベーション課 Well-Being 意見交換会	賛助
30 日	地域幸福度 (Well-Being) 指標有識者検討会	賛助
4 月 5 日	会津若松市 アーキテクト会議	賛助
6 日	取材 EMIRA 5 月特集	
13 日	中央大学／国松ゼミ 講義	賛助
21 日	PLATEAU YOKOHAMA Project 2022 報告会	賛助
25 日	浜松市モビリティワークショップ/東京海上	賛助
25 日	小田急沿線スマートシティ勉強会	
27 日	オランダ王国大使主催 ナショナルデー・レセプション	賛助
27 日	シードプランニング/HO T フォーラム	正会員
27 日	世界経済フォーラム Agile Governance Summit(招待)	賛助
30 日	G7 群馬高崎デジタル・技術大臣会合	賛助
5 月 9 日	山口県庁 職員向けウェルビーイング勉強会	賛助
11 日	兵庫県庁 職員向けウェルビーイング勉強会	賛助
16 日	つくば市 Digital Gov./Smart City 研究会	賛助
17 日	自治体総合フェア 2023 カンファレンス	
18 日	デジ庁主催 デジ田 Type2,3,X 採択自治体向け説明会	賛助
22 日	インタビュー 日経新聞「日経グローバル」	
24 日	インタビュー 日経新聞 6 月 19 日週掲載記事	
25 日	国立市役所 職員向け勉強会	賛助
26 日	兵庫県市議会議長会総会	賛助

30 日	山梨県地域 DX 推進協議会 総会記念講演会	賛助
6 月 1 日	事前 mtg /LWCI レクチャー 千葉市・東京海上日動	正・賛助
3 日	横浜市共創推進課共創推進室 + よこはま共創コンソーシアム主催	賛助
5 日	黒部市福祉協議会 研修会並びにワークショップ開催	賛助
7 日	シブヤ・スマートシティ推進機構 OASIS 第一回	賛助
14 日	会津若松市 OASIS 第一回、第二回	賛助
19-22 日	オランダ王国大使館主催 サークュラーエコノミー視察旅行 ミッション代表	賛助
26 日	デジ庁村上統括官 全国調査の概況ヒアリング	賛助
29 日	【LIFULL 主催】自治体向け 地方創生セミナー	正会員
30 日	世田谷区役所 幹部職員対象 地域幸福度指標勉強会	賛助
7 月 3 日	浜松市モビリティワークショップ/東京海上	賛助
3 日	浜松市 OASIS 第 2 回	賛助
4 日	デジ庁 オンラインワークショップ	賛助
4 日	DSA Report 2023-2023」メッセージ寄稿	
6 日	Super City/Smart City 関西	
7 日	世田谷区役所 幹部職員対象 地域幸福度指標勉強会	賛助
8 日	対談企画 Liquitous	
10 日	デジ庁「地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会」	賛助
11 日	映像収録／千葉県市長会・千葉県町村会、研修会	
11 日	鎌倉市市 OASIS 第 1 回	賛助
12 日	シブヤ・スマートシティ推進機構 OASIS 第二回	
12 日	デジ庁 オンラインワークショップ	賛助
13 日	インタビュー日本オラクル 梅山様	賛助
19 日	会津若松市 OASIS 第三回、第四回	賛助
20 日	映像収録／オンライン講座「ウェルビーイング指標」講座	
24 日	浜松市 OASIS 第 3 回	賛助
26 日	SCI-Japan フォーラム登壇	
27 日	鎌倉市 官民研究会(全体会)	賛助
28 日	寄稿/ぎょうせい月刊「地方財務」9 月号	
29 日	横浜市立大学 社会人向け講義	賛助
8 月 2 日	第 1 回ひょうごスマートシティ推進検討会（県内 41 市町対象）	賛助

3 日	三菱 UFJ 銀行 スマートシティ勉強会	正会員
7 日	静岡市「ウェルビーイング」に係る講演	賛助
7 日	静岡新聞デジタル・スマートシティ MONTH 特別企画市長・フェロー対談	
8 日	広島大学 「大学の世界展開力強化事業（インド太平洋）の夏期短期研修（AGILE ワークショップ）」	賛助
8 日	東広島市 OASIS 第一回、第二回	賛助
9 日	鎌倉市 OASIS 第 2 回	賛助
10 日	トヨタ・コニック・アルファ オンライン講義	
11 日	尾道 Well-being セミナー	賛助
21 日	浜松市 OASIS 第 4 回	賛助
22 日	小田原デジタルまちづくりコンテスト 一次審査	賛助
23 日	シブヤスマートシティ推進機構 OASIS 第 3 回	賛助
23 日	下関市 スマートシティ推進協議会定例会	賛助
24 日	鎌倉市 OASIS 第 3 回	賛助
25 日	YNU アーバニストスクールプログラム 2023	賛助
28 日	会津若松市 OASIS 第 5 回、第 6 回	賛助
29 日	横浜市 広域連携スタディミーティング	賛助
29-30 日	金沢工業大学 講演＋ワークショップ	賛助
31 日	千葉市&東京海上 OASIS 1 回目	賛助
9 月 4 日	東広島市 OASIS 第 3 回	賛助
7 日	World Smart City Expo Korea,	賛助
12 日	土木学会全国大会 研究討論会	賛助
13 日	シブヤスマートシティ推進機構 OASIS 第四回	賛助
14 日	千葉市 LWC ワークショップ×東京海上日動火災保険	賛助
15 日	横浜市	賛助
19 日	山口大学 ウェルビーイング研究会	賛助
20 日	山口県 OASIS 1 回目	賛助
23 日	法政大学 市ヶ谷キャンパス COI Next 会議	賛助
25 日	浜松市 OASIS 第 5 回	賛助
28 日	千葉市&東京海上 OASIS 2 回目	賛助
29 日	OGC 定例会	賛助
29 日	GLOCOM 六本木会議	

2-3. 外部団体との提携等

1) 関連組織との MOU 締結

提携先	概要
Greater London Authority	英国のグレーター・ロンドンにおいて最上位に位置する地方自治体
Connected Places Catapult	英国のオープンイノベーションを推進する非営利団体
Royal Danish Embassy in Japan	駐日デンマーク王国大使館
Spain Embassy in Japan	駐日スペイン大使館経済商務部
Fira de Barcelona	バルセロナの世界最大級スマートシティイベント Smart City Expo World Congress を主催
WeGo (World Smart Sustainable Cities Organization)	ソウルに事務局を置く、アジアを中心にスマートシティを推進する非営利国際団体。WeGO の会員数は 200 を超え、中国、ロシア、トルコ、メキシコに海外事務所を設置
Eden Strategy Institute	シンガポールの研究機関。独自のスマートシティ・ガバメントランキングを公表
SmartCT	フィリピンに事務局を置く、アジアのスマートシティを推進する団体
MyData Global	パーソナルデータに関する個人中心のアプローチを推進するグローバルな非営利団体
FIWARE Foundation	FIWARE の普及を民間主導で推進するグローバルな非営利団体
Open & Agile Smart Cities	世界中の都市間のデジタル推進を支援するベルギーの非営利団体
Smart City Association (SCA)	韓国におけるスマートシティを推進する政府系団体
慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 白坂研究室	宇宙開発から社会システムまで、人が経験的・感覚的におこなっていることを体系化する研究を幅広い分野で実施
日本版 Well-Being イニシアチブ	日本経済新聞社、公益財団法人 Well-being for Planet Earth、参画企業により創設。Well-being を測定する新指標開発やウェルビーイング経営の推進等に取り組んでいる
株式会社日経 BP	日本経済新聞グループの出版社で、日経ビジネスをはじめとする「日経 XX」の雑誌を出版。日経 BP 総研の名で「シティブランド・ランキング」ほか独自の調査も実施
東京海上日動火災保険株式会社	Liveable Well-Being City 指標における自治体の災害脆弱性診断ロジックの形成に向けて協働中
株式会社カヤック	関係人口づくりと移住のためのマッチングサービス『SMOUT』を全国で展開しており、Liveable Well-Being City 指標の開発・展開において協働中
一般社団法人コード・フォー・ジャパン	市民主体で課題解決を行うコミュニティづくりの支援等に取り組んでいる Civic Tech の団体
公益財団法人九州先端科学技術研究所	「ビッグデータ&オープンデータ研究会 in 九州」(BODIK (BigData & OpenData Initiative in Kyushu)) を設立し、オープンデータの活用に注力中
一般社団法人循環経済協会	限りある天然資源を有効活用しながら、資源効率性の高い持続的に発展可能な経済社会(循環経済社会)の実現を目指して各種事業を展開
一般社団法人官民共創 HUB	「官民共創」による社会課題の解決や新規事業の創出を目指して、それをサポートするための場(コミュニティ、イベントスペース、イベントなど)を提供
Scrum Ventures LLC	サンフランシスコと東京を拠点とするベンチャーキャピタル。『SmartCity X』を実施
ハーチ株式会社	ソーシャルグッド、シェアリングエコノミー、教育など幅広い分野でウェブメディアを企画・運営

横浜市立大学	横浜市と連携しながら、データサイエンス分野にて COI-NEXT の共同研究等に取り組んでいる
--------	---

2) 関連団体等への入会 (原則、会費無料)

入会団体	会員種別
グローバル・スマートシティ・アライアンス (GSCA)	パートナー
Open & Agile Smart Cities (OASC)	会員
日 ASEAN スマートシティ・ネットワーク官民協議会 (JASCA)	会員
FIWARE Foundation	Associate member
スマートシティ官民連携プラットフォーム	オブザーバー
スーパーシティ・オープンラボ	会員
環境省ローカル SDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム	会員
地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム	3 号会員
デジタル海外展開プラットフォーム	会員
一般社団法人データ社会推進協議会	特別会員
一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム	賛助会員
一般社団法人 My Data Japan	特別会員
都市 OS 利活用協議会	会員
サイバーセキュリティ協議会	第 4 期構成員
一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター	賛助会員
ジャパン・サーキュラー・エコノミー・パートナーシップ (J-CEP)	オブザーバー
一般社団法人オルタナティブデータ推進協議会	賛助会員
一般社団法人 JCoMaaS	行政事業者団体等会員
一般社団法人循環経済協会	賛助会員
一般社団法人データサイエンティスト協会	特別会員
一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会	非営利団体等会員
ZETA アライアンス	特別会員
シブヤ・スマートシティ推進機構	賛助会員
デジタル&ファイナンス活用による未来型政策協議会	連携団体
一般社団法人渋谷未来デザイン	賛助会員
一般社団法人渋谷未来デザイン データコンソーシアム	会員
一般社団法人 CiP 協議会	賛助会員
itSMF Japan	特別会員
Japan Innovation Bridge (J-Bridge) パートナー制度	パートナー
東京商工会議所	会員

以上